

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム花みずき

作成日: 平成 31 年 1 月 18 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者1人1人のペースを大切にし、希望に沿いたいと対応しているが、入居者の激しい感情表出により、十分に対応が出来ていない事もある。	感情表出は、その時の入居者のメッセージと捉え、出来るだけ穏やかな表情で、あらゆる場面においても、入居者の状態の受入に努める。	問題が発生した時点で、1人で何とかしようとせず、必ず職員で状態を共有し、入居者にとってより良い方策を考え検討する。医師、看護師、ケアマネ等の協力支援をもらいながら、日々の情報共有を実施していく。入居者の体調により、変動(波)がある為、長期的にみていく事が必要。	6ヶ月
2	35	災害時の避難等について、自事業所内での避難訓練実績はあるが、地域との連携を通じた避難実績はない。又、夜間帯での避難時、現状、母体からの支援体制は確保できているが、地域との協力体制は構築出来ていない。夜間は基本1人体制の為、地域の協力は不可欠と考えられる。	火災発生や風水害を想定した訓練の見学を、地域住民に働きかけ、地域の理解と協力を得られるように努める。	次回の火災訓練、災害訓練時に、地域住民の方に見学をして頂く。地域消防団に働きかけ、事業所訓練時の見学を通して、事業所への理解に繋げてもらう。夜間時の避難に協力が得られるか等の具体的な働きかけを実施する。	6ヶ月
3	49	個々の入居者の思いに沿い、外出の機会を作るよう努めているが、日常業務に追われ、外出支援が滞っている傾向にある。入居者によっては、家族の支援により、頻繁に外出されるケースもあるが、大方の入居者が外出の機会が少ない。	スタッフの日中の人員に限りがある為、入居者全員が揃っての外出は困難だが、入居者の状態にあった外出の企画を立て、安全を基本に外出支援を実施する。	外出支援のための話し合いを持ち、安全に、且つ入居者に楽しんでもらえる外出支援計画を立て、スムーズに外出が出来るよう、進めていく。天候や入居者の体調不良等がある場合は、決して無理をせず、取りやめとする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。